

現場デジタル化の可能性にお気づきの住宅会社の経営者様へ



システムと仕組みで工務の
仕事が50%削減

現場管理

デジタルトランスフォーメーション

DX



分業化・標準化・デジタル化で自動的に経営が回る
圧倒的高生産性住宅会社の作り方

トイレットペーパー以外の紙は
ほぼゼロにします！



株式会社船井総合研究所
代表取締役
佐藤 秀雄 氏

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

オンライン開催：住宅会社のDXの始め方セミナー お問い合わせNo. **S078774**

2021年 10月30日(土)11月5日(金)11月12日(金)



Funai Soken

主催：株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪府中央区北浜4-4-10 船井総研 大阪本社ビル

船井総研セミナー事務局

E-mail: seminar271@

funaisoken.co.jp

※お問い合わせの際は
「セミナータイトル・お問い合わせNO・お客様氏名」
を明記のうえ、ご連絡ください

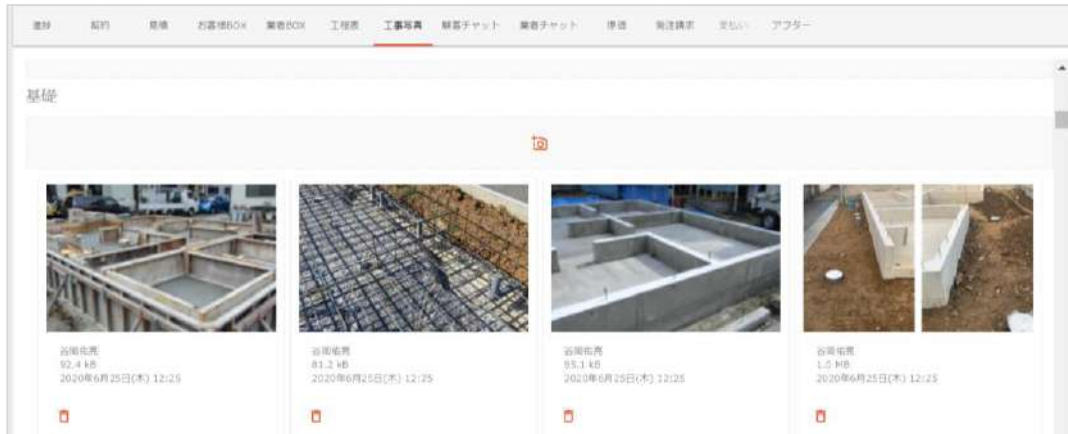


スマホ1台で工事が進む!

クラウド管理で、工務は社内から指示出しが可能。
何回も現場に訪問する必要がなくなる!

常に最新情報がクラウド上にあるため、古い図面
や工程表が出回らず、ミスやトラブルが激減!

これにより生産性が向上。一人で管理できる棟数
が増え、1棟あたりの粗利も増加!



施工写真のアップ画面

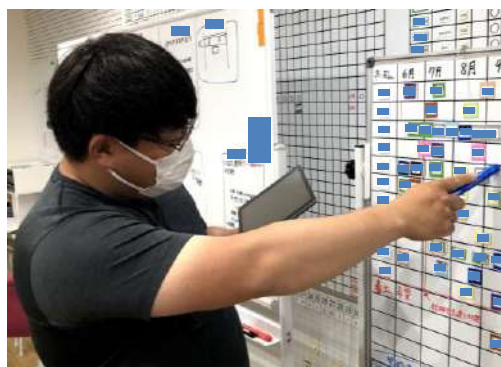
※画像はイメージです



※画像はイメージです



現場管理DXの全体像！



※画像はイメージです

チャット画面

※画像はイメージです



務



(チャットでやり取り)

保存・更新

報告

連絡

相談

指示

図面
仕様書
工程表

ド管理>

閲覧・確認

大工

指示

(やり取り)

連絡・相談



※画像はイメージです

株式会社スタイリッシュハウス

代表取締役 佐藤 秀雄 氏



お客様・業者・社員

本当のDXはみんなを幸せにすることができるとです

“社内の紙はトイレットペーパーだけにする！”

それが私たちが取り組むDXの「最終目標」です。

何よりも効果を発揮したのは、現場管理のDX化。

今では**現場監督がほとんど社内勤務を実現。**

工事は何の影響も無く、スムーズに進んでいます。

役割分担を明確にしたことで、業務は驚くほど効率化。

1番難しかった**現場監督3人で、年間60棟管理を実現**
できたことが何よりもの収穫でした。

訪問頻度が減ってもミス・クレームもほとんどありません。

粗利率平均30%以上は経営者として本当に誇らしい！！

そして何より社員の評判がよかったのが、勤務時間の変化です。

なんと！「現場監督のほぼ毎日定時退社」を実現。

当然、無駄な人件費も発生しないのも経営者には嬉しいですね。

この状態までもっていきのにやったことは、とてもシンプルです。

一つ目に**デジタル委員会を立ち上げ、D X化を推進する担当者を選出**しました。

二つ目に**全業務の棚卸**で、デジタル化すべき業務を見つけていきます。

そして、工務と業者が離れていても仕事ができる、

チャットアプリやクラウド管理の導入です。

たった三つのことだけで、工務の業務効率は大幅に飛躍しました。

このやり方は複雑なシステムを作ったりするものではありません。

なので、D Xに挑戦したけど挫折した方も無理なくできると思います。

私たちの取り組みが皆様のD X経営のお役に立てるよう、より詳しい内容をセミナーでお話しできればと考えています。

当日、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

現場管理DXを実現する 3つのステップ

ステップ1

業務の棚卸

ITが導入箇所が明確化
スムーズな導入と運用
を実現



専任者の選定
業務内容の見直し
業務の流れの見直し

ステップ2

ITの導入・運用

工務の現場訪問が激減
1人あたりの管理棟数が
増加



スマホ・タブレット支給
チャットアプリの導入
クラウド管理の導入
工程表アプリの導入

ステップ3

工務ゼロでの 現場管理

工務が完全社内勤務
それでもミスなく、納
期までに完工



業者や大工との連携
システムの構築
彼らが自律的に働ける
マニュアルの構築

実は難しいステップ

ITをスムーズに導入できない
導入しても使いこなせないなどの理由から
ステップ2までで挫折してしまうケースがほとんど…

効果

主な
取り
組み

挫折しないIT導入・運用のポイント

ステップ1

業務の棚卸

経営者が自ら
DX化に向けた
プロジェクトを推進

経営者が自らDX化を推進することで、なかなか動かない社員たちを巻き込んでいきます。

案件ごとに
バラバラだった
業務や担当者を
マニュアル化

使えないシステムができてしまう要因は、仕事のやり方や担当者が、案件によってバラバラだから。
まずは業務内容や担当者を明確にし、業務のマニュアル化を図っていきます。

ステップ2

ITの導入・運用

社内はもちろん
大工・業者向けに
システム研修の実施

システム導入後、社内はもちろん大工や各業者が使えるようになるために、研修や勉強会を定期的実施。

継続させるために、
システムを使用しないと
完結しない項目を
業務に加える

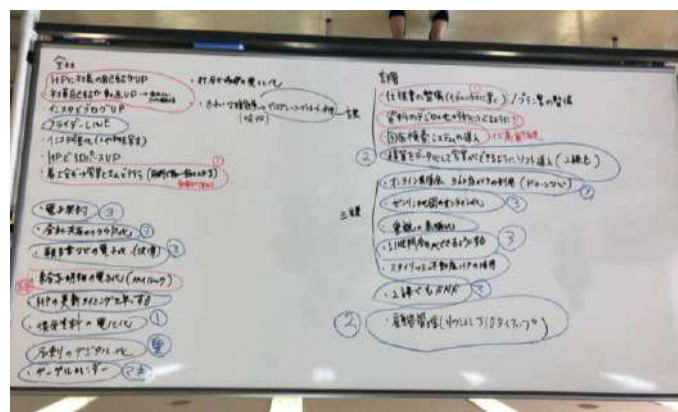
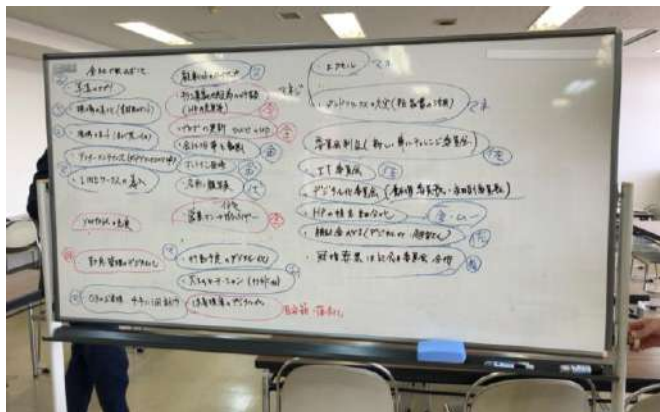
現場で使い続けてもらうために、システムを使わないと完了できない項目を設けるなどして、システムの活用を定着化させます。

工務の現場訪問が激減し、現場の生産性が向上

ステップ1 業務の棚卸のポイント

経営者が自らDX化に向けたプロジェクトを推進

社員は自ら動かない…。経営者が積極的に動くことで、社員に『自分たちも動いた方がいい』と思わせる！



↑アイデア会議の様子。社員が出した意見で、ホワイトボードが埋めつくされていきます。

現場は日常業務が忙しいなどの理由から、DX化に向けてなかなか動きません。そこで経営者自らDX化に向けて動いていきます。例えば、自らアイデア会議を開催し、社員達に意見を出させる場を設けます。初めは意見が出ない社員も、「社長もやってるから…」と、どんどん意見が出始め、社員も少しずつ動き始めてきます。

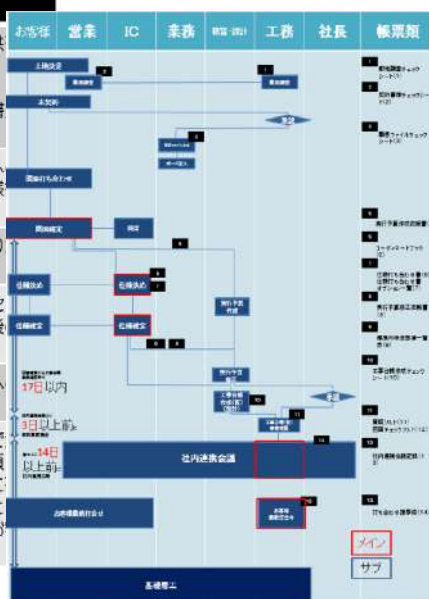
バラバラだった業務や役割をマニュアル化

せっかくできたシステムが使えないものだった…。

そうならないためにまずは業務の見直しを！

議事事項	担当	備考
① お客様情報・「言葉の領収書」の確認	営業 I.C.	◎お客様情報の共・住所・性格等 ◎「言葉の領収書」読み合わせ
② 申送事項の確認	営業	◎営業から工務へ継ぎ事項の仕様もとに実施
③ 図面チェック	工務	◎最終図面に誤りいかなを確認
④ 工程確認（地鎮祭・上棟せしモノ）	工務	◎地鎮祭・上棟せしモノを含む今後程を確認
⑤ 質疑事項確認	工務	◎工務から営業へ質疑を行う
⑥ 保留事項の確認	工務	◎社内連携会議でできなかった項工務から営業に、保留事項と最終打合せでおに確認する

↑業務分担表



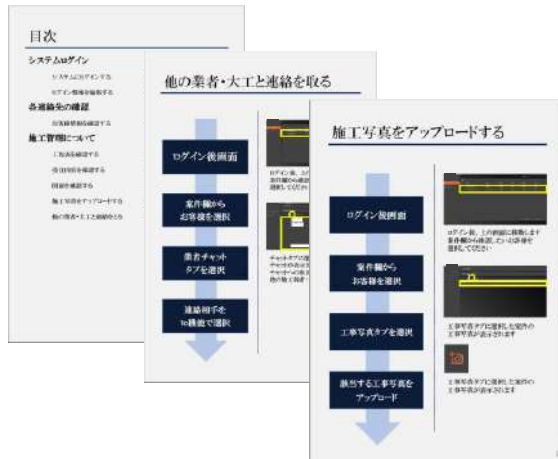
↑業務フロー表

社員が動いてくれたのに、できたシステムが使えないものになることもあります。その大きな原因は、業務の仕方や責任者が案件ごとに異なり、システムに反映できないからです。そこでまずはシステムを作る前に、業務の見直しを行います。役割分担や仕事の流れを整理しながら、誰が何をいつまでにするのか、責任を明確にするためのルール作りを行います。

ステップ2 ITの導入・運用のポイント

社内・大工・業者向けにシステム研修の実施

現場でシステムが使われないのは、使い方がわからないから。
大工や業者も巻き込んだ研修で、全員に使い方を覚えさせる。



←研修時のマニュアル。
ログインの仕方から詳細
に記載されている。

↑システムの使い方研修の様子(イメージ図)

※画像はイメージです

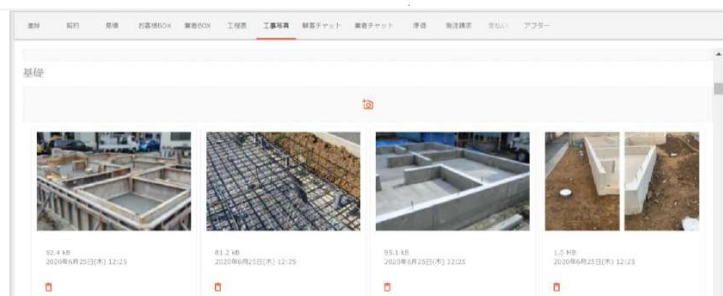
システムが出来上がったら、それを社内だけでなく、大工や業者にも利用してもらう必要があります。不慣れなITを使ってもらうために、大工や業者に対しても研修を行っていきます。**大工会議や業者会議のタイミングで、システムの制作者や社内のシステムを使えるようになったメンバーが登壇して、使い方をレクチャーしていきます。**

業務でシステムを使用することを義務化

『気が付いたらアナログ作業に逆戻り・・・』を防ぐために、
仕事のルールに“システム活用”を加えて、使い続けさせる

システムへの写真をもとに 20 日〆時点で工事が完了しているか確認しますので、
かならず写真アップをお願いします。

←業者への業務依頼。写真をシステム上に
アップすることを業務内容に含まれている



↑チャットでのやりとりと写真をシステム上にアップされている様子。

※画像はイメージです

大工や業者に使い方を覚えてもらったら、あとは継続して使ってもらうことを目指します。そこで、**業務の連絡はチャットで実施、業務完了時に施工写真をシステムにアップ**など、**業務でシステムを使用する義務を設けます。**操作の仕方自体は難しくないのに、一度ルールをつくってしまうと自然と使い続けてもらえるようになりました。

組織の抜本的構造改革こそ 住宅会社のDX化への近道 現場を変えて高生産企業へ



「IT・デジタルツールは難しすぎる・・・」

「ウチにはまだ早いよ・・・」

「余計に仕事が増えるんじゃないの？」

そのような方に向けて、私からセミナーのご案内です。

テーマはずばり、『粗利を守り、生産性を倍にする、現場管理DX！』です。

「システムを導入すればいいんでしょ・・・。」

と思われた方は要注意です。

おそらく皆様も一度は経験があるのではないのでしょうか？

お金をかけて導入したシステムが使いこなせなかったり、作ったルールがいつのまにか、
なくなっていたり・・・。

DX化はメリットも多くありますが、それゆえ会社にもたらす変化も大きく、多くの会社が運用
を断念してしまう傾向があるのです。

スタイリッシュハウス様のすごいところは、**DX化の推進を社内外の**

関係者全員に、徹底させているところです。

なぜ私たちが経営者の皆様に現場管理DXに取り組んで欲しいのか。

それは、集客が好調で受注が増えても施工ミスがあり、粗利が減っては意味が無いからです。

現場監督を増やそうにも経験豊富な人材の採用は難しい状況。簡単には管理棟数を増やすことは
できません。

そんな中、スタイリッシュハウス様では、現場監督 1 人あたり10棟→20棟管理
どうしても残業の多くなりがちな現場監督の定時退社を実現できるほど、
現場管理を仕組み化し、有効にデジタルツールを使用して、高生産性を実現しています。

詳しくはセミナーで解説しますが、ポイントだけお伝えすると、**「デジタルを使いこなす“組織の仕組み・文化”を作ること」**です。

まずはどの業務がシステム化できるのか、できないのか把握することです。無駄に入力作業が増えてしまったり、二度手間になってしまったら仕事が増えてしまいます。

そして、社員教育にはじまり、大工、関連業者様に至るまで、**家づくりに関わる全ての人間に「デジタルは当たり前」そう思えるまで研修**をしていく必要があります。

「何年もかかるんじゃないの？」と想像しているかもしれませんが、動画マニュアルやQ&A等のツールを整備することで、半年後には何往復もして管理していた現場が嘘だったかのように、スムーズに工事が進んでいくことでしょう。

現場管理DXを実現するその秘密こそが、**デジタル利用を前提とした、業務フローづくりや、要所に設けたアナログの管理体制の見直し**なのです。

今回のセミナーでは、デジタル活用のポイントからDX化を成功させるための事前準備、ルールを徹底させるための施策を包み隠さずお話いただけるセミナーとなっております。

まだDX化に抵抗のある経営者様に向けた、導入用のセミナーではありますが、今回紙面ではご紹介できなかったステップ3やDX化にかかわらず、ミスやクレームを防ぐ施策や紹介率を高めた施策なども、お話しいただける内容盛りだくさんな講座になっています。

セミナーに参加いただき、DX化を進め、利益体質な会社づくりにお役立ちいただけますと幸いです。

株式会社船井総合研究所 建設支援部 チーフコンサルタント **佐山健太**

住宅会社のDXの始め方セミナー

【開催場所】＜オンライン＞ 2021年10月30日(土)11月5日(金) 11月12日(金) 全日程開催時間共通
13:30～16:30

講座

内容

現場に行かずに工事がはかどる現場管理DXの取り組み公開

第1講座

特別
講演



株式会社
スタイリッシュハウス
代表取締役
佐藤 秀雄氏

- ・現場管理DXに力を入れ始めた理由
- ・DX化に向けた業務フローと社内のルールづくり
- ・デジタル委員会の立ち上げと社員主導のDX化推進
- ・デジタルツールの導入① チャットアプリの活用方
- ・デジタルツールの導入② 紙での管理からクラウド管理へ
- ・デジタルツールの導入③ 工程表作成アプリの活用
- ・工務が現場に行かずに、施工が進む仕組みづくり
- ・今後の展望・・・他

DX化が進む！役立つアプリやツールの活用事例の紹介



株式会社船井総合研究所
建設支援部
チーフコンサルタント
佐山 健太

- ・あなたの会社がDX化が進まない理由
- ・DX化の最初のステップ：役割分担と業務フローのポイント
- ・作った業務フローが形骸化してしまう会社の特徴
- ・現場に行かずに指示が伝わるチャットアプリの使い方
- ・最新情報を常に共有できるクラウド管理の活用術
- ・協力業者も巻き込んだDXの方法とポイント

DX初心者でも始められる！正しいDXの進め方



株式会社船井総合研究所
第二経営支援本部
マネージングディレクター
伊藤 嘉彦

- ・地域密着型企業のDX戦略
- ・社員と業者を巻き込むシステムの整え方
- ・地域で愛される住宅会社がやるべき
デジタルとアナログの使い分け
- ・明日から取り組んでいただきたいこと・・・他



ご入金確認後、マイページの案内をもってセミナー受付とさせていただきます。

住宅会社のDXの始め方セミナー

お問い合わせNo. S078774

開催要項

オンラインにてご参加 ※全日程とも内容は同じです。ご都合の良い日時をお選びください

日時

2021年
10月30日 (土)

2021年
11月5日 (金)

2021年
11月12日 (金)

お申込期限: **10月26日** (火)

お申込期限: **11月1日** (月)

お申込期限: **11月8日** (月)

開始

終了

13:30 ▶ 16:30 (ログイン開始13:00より)

※本講座はオンライン受講となっております。

※諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。

※オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。Zoomご参加方法の詳細は「船井総研 web参加」で検索

受講料

一般価格

税抜 10,000円 (税込 **11,000円**) / 一名様

会員価格

税抜 8,000円 (税込 **8,800円**) / 一名様

●お支払いが、クレジットの場合はお申込み手続き完了後の案内(メール)をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内(メール)をもってセミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込みをお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4営業日前までにお振込みできない場合は、事前にご連絡ください。なお、ご入金を確認できない場合は、お申込みを取消させていただく場合がございます。●ご参加を取り消される場合は、開催3営業日(土・日・祝除く)前まではマイページよりキャンセルをお願い致します。それ以降は下記船井総研セミナー事務局宛にメールにてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。

●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧: FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込に適用となります。

お申込方法

下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。受講票はWEB上でご確認いただけます。

または、船井総研ホームページ(www.funaisoken.co.jp)、右上検索窓にお問い合わせNo.078774を入力、検索ください。

お問合せ



明日のグレートカンパニーを創る

Funai Soken 株式会社 船井総合研究所

船井総研セミナー事務局 E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

TEL:0120-964-000(平日9:30~17:30) ●申込みに関するお問合せ: 中田 ●内容に関するお問合せ: 佐山

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

お申込みはこちらからお願いいたします

10月30日(土)オンライン

お申込期限: 10月26日(火)

11月5日(金)オンライン

お申込期限: 11月1日(月)

11月12日(金)オンライン

お申込期限: 11月8日(月)

全日程
お申し込みはこちら

